

化学で
未来を
変えるの

ダイセル

特集

ダイセルの改革

事業創出本部長に聞く ダイセルの新商材

DAICEL TODAY

株主の皆様へ

第154期 中間報告書

2019年4月1日～2019年9月30日

100th
Surprise! DA future.



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。収益の回復に全力で取り組むとともに、次の成長のための施策実行も加速していきます。

2019年12月

代表取締役社長 小河 義美

● 中間期業績&通期見通し、株主還元

販売数量の減少や研究開発費の増加、為替影響などにより、減収減益となりました。

■ 2020年3月期中間期の業績について

当中間期の世界経済は、米中貿易摩擦の深刻化、中国景気の減速、日韓関係の悪化など、先行き不透明な状況のうちに推移しました。このような状況の中、中国の景気減速の影響、インフレタの販売数量減少や販売品種構成の変化、酢酸セルロースの販売数量減少、研究開発費の増加、為替影響などにより減収減益となりました。全体として、売上高2,106億81百万円(前年同期比10.4%減)、営業利益178億58百万円(同39.5%減)となりました。

■ 2020年3月期の業績見通しについて

当中間期の業績と、経済環境が不透明に推移していることや為替影響を踏まえ、2019年5月9日に公表した

2020年3月期通期業績予想を、売上高4,310億円、営業利益360億円に下方修正しました。引き続き、鋭意コストダウンなどに取り組み、業績回復に向け、邁進してまいります。

■ 株主還元について

2019年9月8日に100周年を迎えました。そのことから、2020年3月期の期末配当におきまして、1株当たり2円の記念配当を実施することにしました。また、株主への利益還元の向上を図るとともに、今後の自己資本比率の見通しを勘案し、2019年11月から2020年7月にかけて200億円の自己株式取得を実施しています。なお、取得した株式については、全株消却する意向です。

● 課題解決に向けた取り組み&変化への対応

コーポレート部門の抜本的な組織改革などを進め、変化に対応し、新たな成長軌道への回復を狙います。

■ 現状の課題認識について

時代の変化を先取りした変革に挑戦し、その時々で一定の成果を上げてきたものの、新事業創出の遅れや既存事業の収益低下により、足元の業績は厳しい状況が続いています。これは、当社を取り巻く社会・経済環境や競争環境の変化に対して、当社の組織や社内制度が迅速に対応できなかったことや、改革に必要な経営資源の拡充が遅れたことに起因すると考えています。そこで、6月からの新体制の下、業績回復と次の成長に向けて、必要な施策を迅速に推進しています。また中・長期経営方針の策定を進めており、2020年春の発表を予定しています。

■ スピード&シンプルな改革

10月に、コーポレート部門の組織改革を行いました。「事業創出本部」を新設し、新規事業テーマの開発から量産、事業化に必要な機能を集約し、新規事業の創出と育成を加速します。また、同じく新設した「戦略推進本部」は、全社横断的に戦略を推進させる部署として、必要なM&Aや他社とのアライアンスの推進、全社事業戦略の立案、推進に取り組みます。さらに、社長直下に「リサーチセンター」を設け、社外出身者を中心に、お客様の目線に立ってお客様の業界の課題を探索し、当社の培ってきた技術や製品と、お客様の技術との融合による新たな素材の開発などに取り組みます。この組織改革は第一弾であり、さらに今後、市場変化に応じたビジネス

ユニットの編成を含む組織改革を進めていきます。

既存事業の強化のためには、徹底的なコストダウンに取り組んでおり、今期中に、当初の計画に織り込んでいた105億円に4億円を加えた109億円のコストダウンを実行します。生産体制の見直しや不採算事業の整理も進めており、火工品事業部門の北米事業会社の集約による固定費削減や生産性の向上に取り組んでいます。同時に、従来から進めている技術革新や販売強化の施策も着実に推進しています。市場で強みを持つ化粧品原料について、新たなプロセス技術を導入した新設備を建設し、能力の倍増を進めています。また、主力製品である酢酸では、原料の安定調達と比例費の低減を目的とした原料プラントの更新工事を実施しています。さらに、酢酸セルロースの品質向上による競争力強化や、エンジニアリングプラスチックの欧州でのテクニカルソリューションセンター新設による営業力強化、インフレータのインド市場開拓や競争力のある製品の開発と市場投入といった取り組みを行い、販売力も強化していきます。

経済環境の不透明さは依然残り、社会の変化もめまぐるしい事業環境ではありますが、ダイセルグループが一丸となって新事業創出や既存事業の強化に取り組める体制とし、新たな成長軌道への回復を狙っていきます。株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年3月期(第154期)中間期実績

売上高
2,107億円
(前年同期比10.4%減)

営業利益
179億円
(前年同期比39.5%減)

経常利益
187億円
(前年同期比42.1%減)

親会社株主に帰属する四半期純利益
117億円
(前年同期比47.8%減)

2020年3月期(第154期)通期見通し

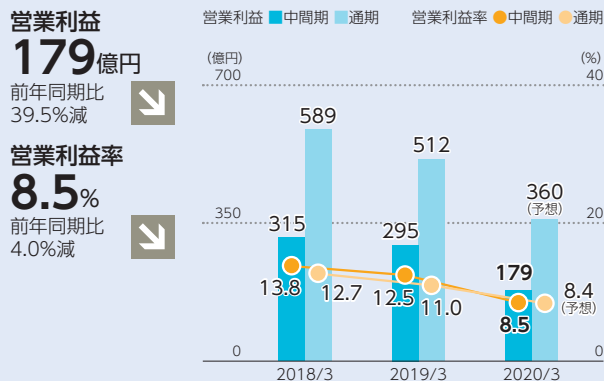
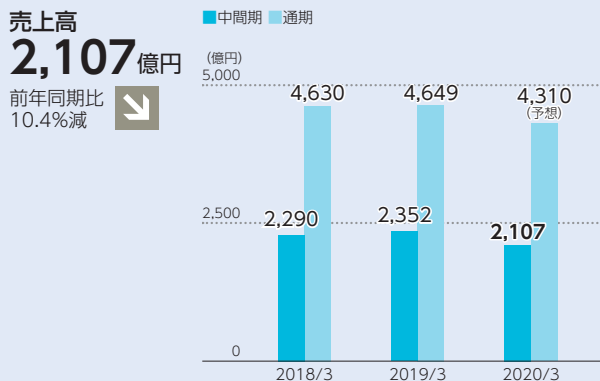
売上高
4,310億円
(前年度比7.3%減)

営業利益
360億円
(前年度比29.6%減)

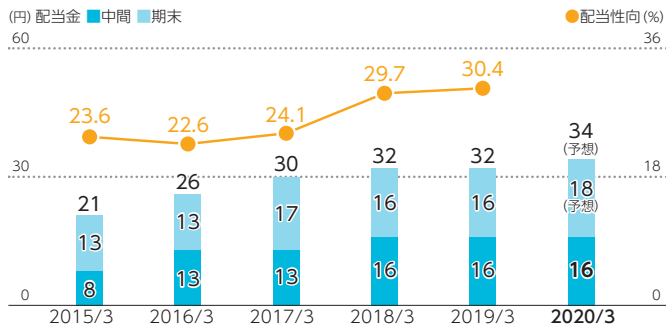
経常利益
380億円
(前年度比28.9%減)

親会社株主に帰属する当期純利益
215億円
(前年度比39.1%減)

中間決算ハイライト



株主還元について



- ・ 中間配当 16円/株 (期初予想通り)
- ・ 年間配当予想 記念配当2円を実施し、34円/株 (期初予想から増配)
- ・ 約594万株、約61億円の自己株式取得を実施
(取得期間：2019年4月～8月) ※2019年2月発表分の当中間期取得分
- ・ 2,200万株、200億円を上限とする自己株式取得を開始
(取得期間：2019年11月～2020年7月)

TOPICS

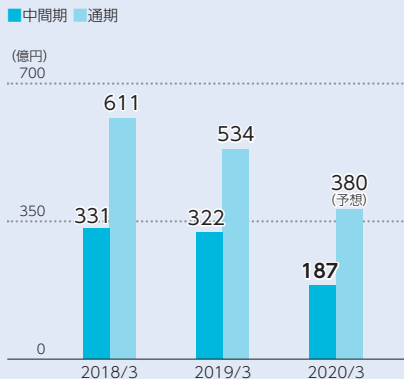


IR活動の詳細につきましては、
当社IR情報サイトをご参照ください。

<https://www.daicel.com/ir/>

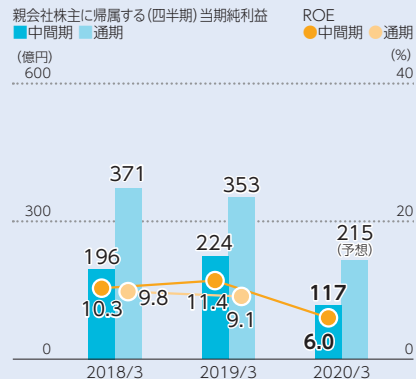
ダイセル IR 検索

経常利益
187億円
前年同期比
42.1%減



親会社株主に帰属
する四半期純利益
117億円
前年同期比
47.8%減

ROE
6.0%



セグメント別事業概況

売上高
構成比

18.0%

19.5%

営業利益
構成比

24.3%

20.8%

セルロース事業部門

主要製品

- 酢酸セルロース
- たばこフィルター用アセテート・トウ
- 水溶性高分子



事業概況

酢酸セルロースは、たばこフィルター用途の販売数量が減少し、減収となりました。

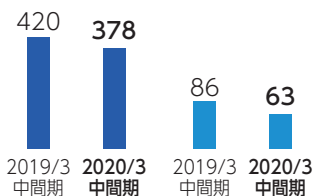
たばこフィルター用トウは、世界的に需給が緩んでいる中、主要顧客でのシェア拡大や新規顧客開拓に取り組んだことにより、販売数量、売上高ともに増加しました。

売上高

378億円

前年同期比10.0%減

■ 売上高(億円) ■ 営業利益(億円)



営業利益

63億円

前年同期比26.3%減

有機合成事業部門

主要製品

- 酢酸および有機合成品
- 有機機能品
- 光学異性体分離カラム



事業概況

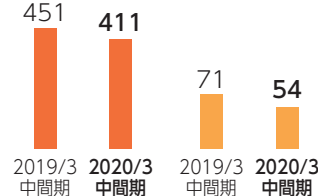
主力製品の酢酸および合成品は、市況の下落および中国の景気減速の影響による国内外の販売数量の減少により、減収となりました。機能品は、中国の景気減速の影響により販売数量は減少したものの、エポキシ化合物の販売が好調に推移したことにより、全体の売上高は横這いとなりました。光学異性体分離カラムなどのキラル分離事業は、新規事業は順調に伸びたものの、充填剤の販売が減少したことにより、減収となりました。

売上高

411億円

前年同期比9.0%減

■ 売上高(億円) ■ 営業利益(億円)



営業利益

54億円

前年同期比23.9%減

■セルロース事業部門 ■有機合成事業部門 ■合成樹脂事業部門 ■火工品事業部門 ■その他部門

※営業利益構成比は、調整額を除いて算出してあります。

40.1%

20.1%

45.0%

8.9%

合成樹脂事業部門

主要製品

- エンジニアリングプラスチック
- 樹脂コンパウンド製品
- 合成樹脂成形加工品



火工品事業部門

主要製品

- 自動車エアバッグ用インフレーター
- 防衛関連製品



事業概況

エンジニアリングプラスチック事業は、中国の景気減速による自動車、スマートフォンなどの需要低迷の影響により、減収となりました。ABS樹脂、エンブラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、中国の景気減速の影響などにより、販売数量が減少し、減収となりました。シート、成形容器、フィルムなどの樹脂加工事業は、主に高機能フィルムの販売が増加したものの、シートなどの販売が減少したことにより、減収となりました。

事業概況

自動車エアバッグ用インフレーター(ガス発生装置)などの自動車安全部品事業は、新車用通常ビジネスにおいては、国内向けが好調に推移したことにより、販売数量は増加しましたが、他社リコール代替品供給が終息に向かっており、全体としては販売数量が減少し、減収となりました。防衛関連製品などの特機事業は、販売数量の増加などにより、増収となりました。

売上高

845億円

前年同期比5.7%減



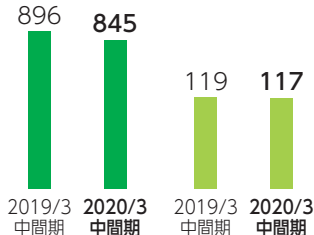
営業利益

117億円

前年同期比1.6%減



■売上高(億円) ■営業利益(億円)



売上高

423億円

前年同期比23.9%減



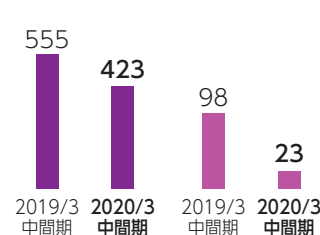
営業利益

23億円

前年同期比76.4%減



■売上高(億円) ■営業利益(億円)



その他部門 売上高 50億円(前年同期比68.9%増) 営業利益 3億円(前年同期比21.5%増)

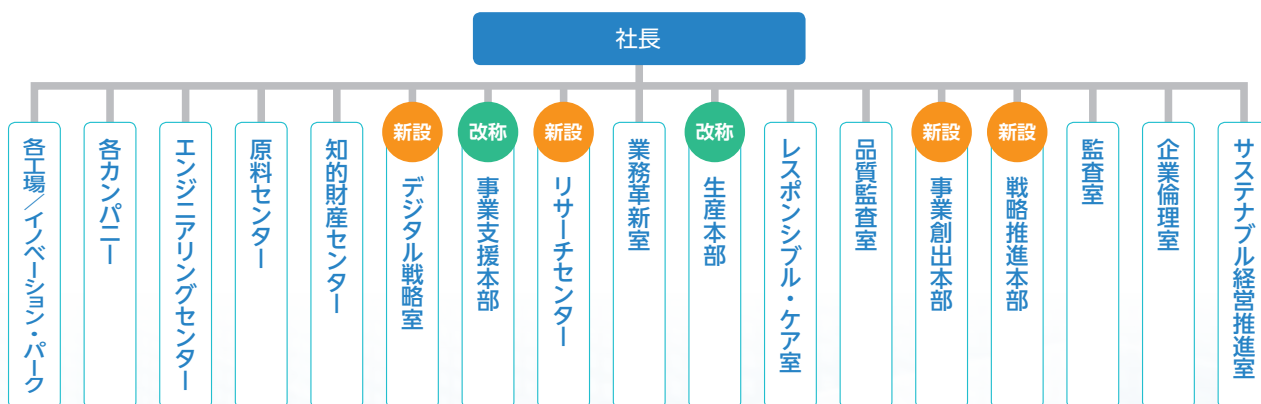
特集 ダイセルの改革

事業創出本部長に聞く ダイセルの新商材

～2019年10月、企業価値のさらなる向上に向け、組織体制を刷新しました～

■組織変更全体の概要

2019年10月1日付けで、既存事業の強化と新規事業の創出・育成をさらに加速させていくため、下記の組織体制にしました。



主な変更

- 戦略推進本部 全社事業戦略の立案と推進や他社との事業連携や協業・M&Aの推進等を行う機能
- 事業創出本部 旧「生産技術本部」の一部機能、旧「研究開発本部」、旧「新事業開発室」を統合
- 生産本部 既存事業の安全・品質の確保と生産性向上にかかわる機能を強化
- リサーチセンター シンクタンク兼リサーチ機能を有する社長直属の機能
- 事業支援本部 戦略企画機能を担う組織として「コーポレート企画部」を追加
- デジタル戦略室 AI、IoTなどの新しいデジタル技術を積極的に活用する機能

■事業創出本部について

研究開発と、新事業開発、生産技術本部の一部機能を統合し新設した「事業創出本部」は、新規事業テーマの規模拡大、立ち上げ・事業化の加速を図ります。これまで、エレクトロニクス領域とコスメ・ヘルスケア領域を重点領域と位置付けて、ウエハレベルレンズや高機能フィルム、食品・医薬品用賦形剤などの新しいソリューションの提供に取り組んできました。事業企画、技術企画、研究開発、生産技術、事業開発の部隊が一つの部署に集まり、事業企画から事業化まで、スピードを上げて取り組んでいきます。



はじめまして。
事業創出本部長に
就任した
高部昭久です。

●プロフィール／1984年、ダイセル化学工業(現御ダイセル)入社。有機化学品の生産技術に携わったのち人事グループを経て、2006年にダイセル・セイフティ・システムズ(株)工場長、2008年にダイセル・セイフティ・システムズ(株)社長。2009年に生産技術室、2014年に総合研究所長を経て、2019年6月、研究所長本部長。10月より現職。

こんにちは。新規事業のテーマアップから
事業化までを担う大きな部署ですね。

そうですね。3つの部門が統合され、所属人数は300名を超え、大きな所帯となりました。

この組織体制にした目的は
どこにあるのでしょうか？

当社は、これまで技術導入による事業開発や自社技術の新たな用途展開での事業拡大の実績があります。しかし、社会やお客様のニーズを深く掘り起こして、一から事業を企画したり、新しい技術を企画することによる新事業創出は、なかなか成功していません。社内の事業創出に関わる機能が、別々の組織に分散しており、うまく連携できていなかった反省があります。2017年に、研究開発、生産技術、エンジニアリング部門をイノベーション・パーク(兵庫県姫路市)に集約して連携強化を図りましたが、今回の組織変更では、それをさらに進め、事業企画・技術企画を含めた一つの組織にしました。共有化された方針と戦略の下で、事業企画、技術企画、研究開発、生産技術などが一体となり、スピード感を持って新規事業を生み出していきます。

「次なる 新規商材は何??」

事業創出本部長
高部昭久に聞く!

事業創出に向けて、全社一丸となって
取り組んでいくという表れですね？

そのとおりです。さらに言えば、事業創出本部と他部署との連携にも力を入れます。例えば、知的財産センターとの連携では、「IPランドスケープ」と呼ばれる手法を取り入れて、ダイセルグループの技術をさらに活用していきます。ダイセルグループは、3,000件強の特許群を保有していますが、これらを守るだけではなく、「攻めの知財」として、これら特許群が他社の技術や事業とどのような関係にあるかを解析するとともに、広く特許情報を活用して新たなニーズを掘り起こしていきます。

オープンイノベーションにも積極的ですが、
具体的にどのように進めますか？

社内リソースだけでなく、外部のリソースをより積極的に活用することを考えています。自前にこだわるのではなく、課題解決のためのソリューション提供のために必要な技術やノウハウは、M&Aや共同研究などで外部からも調達する考えです。ダイセルがこれまでに培った技術と外部のリソースを組み合わせることで、イノベーションにつながる新規事業を創出します。また、新規事業の出口については、自社内で育成を続けること以外にも、出資または新規に設立したベンチャー、他社とのジョイントベンチャー、合併会社設立など事業拡大に最適な方法を選択するとともに、全社事業ポートフォリオに基づき、他社への売却、特許実施権の供与などの、状況に合わせた最適な方法をとります。

DAICEL TOPICS



Daicel Chiral Technologies (India) Pvt. Ltd.の 新社屋が稼働開始



当社のグループ会社であるDaicel Chiral Technologies (India) Pvt. Ltd. (本社：インド・テランガーナ州ハイデラバード、社長：Lakshmi Narayana、以下「DCTI社」)が、2019年5月から新社屋「DCTIナレッジセンター」での本格稼働を開始しました。

DCTI社はインドにおけるキラル事業を担うため2008年に設立され、キラルカラムの販売やテクニカルサービス、受託分取サービスに加え、GMP*分析サービス、製薬企業向け分析用標品などを提供しています。

新社屋「DCTIナレッジセンター」は、これまで分散していた建屋の機能を集約し、包括的にサービスを提供できる設備を備えており、業務をより効率的に、環境に配慮された空間で行うことができます。3階建てで総床面積が約4,600㎡あり、約200人の研究者が就業可能です。

同センターの活用により、DCTI社はよりスムーズにお客様に製品・サービスをお届けするとともに、既存事業の拡大と新規事業領域の開拓を進めます。

*GMP: Good Manufacturing Practice。医薬品の製造・品質管理の基準。

DAICEL TOPICS 2 水なしで飲める美容サプリメント 「みかんのセラミド」を新発売

「ダイセルヘルスケア通販」に、新商品が加わりました!

水なしでさっと飲める美容サプリメント「みかんのセラミド」です。

5月に販売を開始した「みかんのセラミド」は、全身にうるおいを届けるセラミドを主成分とした美容サプリメントです。

当社の研究により、うんしゅうみかんの中にもセラミドが多く含まれていることが分かりました。甘味料や香料などは配合せず、うんしゅうみかんの自然なフレーバーをお楽しみいただけます。また、ダイセルの速崩壊性賦形剤「SWELWICK®」を配合しており、水なしでも口の中でふんわりと溶けるため、ソフトカプセル型を飲み込むのが苦手な方にも、安心してお飲みいただけます。



商品の特徴

うんしゅうみかんのチカラを濃縮

ダイセルは独自の酵素処理によって、うんしゅうみかんからセラミドを効率的に抽出することに成功。うんしゅうみかんのセラミドをひと粒にぎゅっと凝縮しました。

ダイセルの速崩壊性賦形剤「SWELWICK®」を配合

天然由来成分からできており、口の中に入れると水なしでも溶けて、飲みやすさが格段に良くなる剤形です。「粉でむせてしまう」「カプセルや錠剤を水で飲み込むのが苦手」という方にもご利用いただけます。

商品情報

商品名	みかんのセラミド
区分	健康補助食品
原材料	乳糖(乳成分を含む、ドイツ製造)、でんぷん、酵素処理うんしゅうみかん/セルロース、ステアリン酸カルシウム
包装形態	アルミパウチタイプ
内容量	30粒/1日1~3粒・10~30日分
希望小売価格	1,404円(税込)

DAICEL TOPICS 3 1,3-ブチレングリコール製造設備を 網干工場に新設します

当社の1,3-ブチレングリコール(1,3-BG)は、主に化粧品原料として幅広く採用いただいております。当社では、昨今のアジアを中心とする世界的な化粧品需要の増加により、今後1,3-BGの需要もさらに伸張すると予想しており、生産設備を新設することとしました。化粧品グレードの供給能力を倍増させるとともに、製造拠点を複数化することで、お客様への安定供給体制を一層整えてまいります。新設備は、2020年9月に完成予定です。

ESG

サステナブル経営推進室の設置

2019年6月に、サステナブル経営推進室を新設しました。10月に、グループ企業統括機能を加え、ダイセルグループ全体でサステナブル経営を推進していきます。グローバルで約12,000名となるダイセルグループ従業員が、その基本的人権はもとより、多様性が尊重され、一人ひとりが成長しながらいきいきと活躍できる企業グループを目指していきます。

SDGs(持続可能な開発目標)に関する社内向け説明会を実施

SDGsの考えを経営の中に統合していくにあたっては、社員一人ひとりがこの考え方を理解した上で、それぞれの目標に向かって取り組むことが重要と考えています。そのためにも、10月と11月に、当社国内全拠点(本支社、工場、イノベーション・パーク)で「SDGs説明会」を開催し、SDGsそのものやダイセルグループでのこれからの取り組みについて説明しました。このような説明会は、順次グループ会社でも開催していきます。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※SDGs(エス・ディ・ジーズ):2015年に国際連合で採択され、現在世界的な動きとして認知度が高まっている2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。

より詳細なデータにつきましては、当社IR情報サイトをご参照願います。

<https://www.daicel.com/ir/irlibrary.html> ダイセル IR 検索

		2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期
		中間期	通期	中間期	通期	中間期
売上高	(億円)	2,290	4,630	2,352	4,649	2,107
営業利益	(億円)	315	589	295	512	179
営業利益率	(%)	13.8	12.7	12.5	11.0	8.5
経常利益	(億円)	331	611	322	534	187
親会社株主に帰属する (四半期)当期純利益	(億円)	196	371	224	353	117
総資産純利益率(ROA)	(%)	6.3	6.0	7.0	5.5	3.6
自己資本純利益率(ROE)	(%)	10.3	9.8	11.4	9.1	6.0
自己資本比率	(%)	59.7	60.1	61.8	60.1	61.3
総資産	(億円)	6,500	6,403	6,467	6,548	6,310
純資産	(億円)	4,155	4,135	4,292	4,232	4,156
1株当たり(四半期)当期純利益	(円)	56.56	107.81	66.23	105.38	35.96
1株当たり純資産額	(円)	1,122.60	1,136.32	1,193.13	1,198.77	1,198.71
1株当たり配当金	(円)	16	32	16	32	16
配当性向	(%)	—	29.7	—	30.4	—

用語解説

■総資産純利益率(ROA: Return On Asset)

純利益を総資産で割ったものであり、事業に投下した資産がどれくらい利益を生み出したかを表す。

親会社株主に帰属する
当期純利益
——
総資産

■自己資本純利益率(ROE: Return On Equity)

純利益を自己資本で割ったものであり、株主から拠出された資金を活用して、どれくらい利益を生み出したかを表す。

親会社株主に帰属する
当期純利益
——
自己資本

会社概要 (2019年9月30日現在)

商号 株式会社ダイセル
英文商号 Daicel Corporation
大阪本社 〒530-0011 大阪市北区大深町3-1
(グランフロント大阪 タワーB)
Tel. 06-7639-7171
東京本社 〒108-8230 東京都港区港南2-18-1
(JR品川イーストビル)
Tel. 03-6711-8111
設立 1919年9月8日
資本金 362億7,544万89円
従業員数 連結:11,993名 単独:2,507名
役員

取締役

取締役会長 札幌 操
代表取締役社長 小河 義美*
代表取締役 杉本幸太郎*
取締役 今中 久典*
取締役 高部 昭久*
社外取締役 野木森雅郁
社外取締役 岡本 囀衛
社外取締役 北山 禎介
社外取締役 八丁地園子
社外取締役 浅野 敏雄

*執行役員兼務者

監査役

常勤監査役 井口 友二
常勤監査役 藤田 真司
社外監査役 高野 利雄
社外監査役 市田 龍
社外監査役 水尾 順一

執行役員

社長執行役員 小河 義美
専務執行役員 榊 康裕
常務執行役員 杉本幸太郎
常務執行役員 今中 久典
常務執行役員 Dieter Heckmann
常務執行役員 児島 秀景
常務執行役員 上野 貴史
常務執行役員 白子 直秀
執行役員 高部 昭久
執行役員 阪本 聡
執行役員 吉野 幸男
執行役員 辻 康雄
執行役員 八木 幹夫
執行役員 川口 尚孝
執行役員 丸山 浩一
執行役員 林 仁志
執行役員 高橋 郁夫
執行役員 藤尾 正昭
執行役員 飯山 尚志
執行役員 小島 昭男
執行役員 田鹿 治美

株式情報 (2019年9月30日現在)

株式の状況

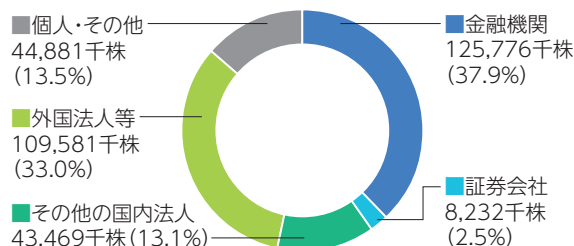
発行可能株式総数 1,450,000,000株
発行済株式の総数 331,942,682株
株主数 17,179名

大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	21,941	6.80
日本生命保険相互会社	17,402	5.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	17,160	5.31
トヨタ自動車株式会社	15,000	4.65
富士フイルムホールディングス株式会社	8,390	2.60
全国共済農業協同組合連合会	7,779	2.41
株式会社三井住友銀行	7,096	2.19
MISAKI ENGAGEMENT MASTER FUND	6,693	2.07
株式会社三菱UFJ銀行	6,503	2.01
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	5,513	1.70

(注) 出資比率は、自己株式を控除して算出し、小数第3位以下を切り捨てて表示しております。

所有者別株式分布状況



(注) 自己株式は、「個人・その他」に含まれております。

株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日より翌年3月31日まで
- 定時株主総会** 6月中
- 基準日** 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
- 株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 同事務取扱場所** 〒540-8639
大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- 郵便物送付先
(電話照会先)** 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および
全国各支店で行っております。
- 単元株式数** 100株
- 上場証券取引所** 東京
- 公告方法** 電子公告
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。なお、電子公告は当社のホームページに掲載して行います。

株式に関する「マイナンバー制度」のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係のお手続きが必要となります。お届出がお済みでない株主様は、お取引の証券会社等の口座管理機関へお届出ください。

株式関係業務におけるマイナンバーの利用

法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。

主な支払調書

- 配当金に関する支払調書
- 単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

マイナンバーのお届出に関するお問い合わせ先

- ▶ 証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引の証券会社までお問い合わせください。
- ▶ 証券会社とのお取引がない株主様
下記までお問い合わせください。
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

お知らせ

住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がない株主様(特別口座をご利用の株主様)は、特別口座の管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

●ダイセル創立100周年特集●

100th
Surprise! DA future.

2019年9月8日、株式会社ダイセルは
創立100周年を迎えました。

100周年記念式典

9月2日、当社の100周年記念式典をリーガロイヤルホテル大阪にて開催しました。ダイセルグループのお客様、お取引先様、金融機関、共同で研究を行っている大学の先生方など、日ごろよりお世話になっている関係者の皆様をお招きし、約550名にお越しいただきました。記念講演として、人工知能などの研究が行われている東京大学大学院の松尾豊先生から「人工知能の未来-ディープラーニングの先にあるもの-」と題するご講演をいただきました。

ダイセル100周年記念アニメ ～受け継がれるモノづくりへの想い～

100年の歴史の一コマとして、大竹工場建設時の奮闘記や、100年にわたって受け継がれるモノづくりへの熱い想いを紹介するアニメーションを制作しました。

当社Webサイトからも視聴いただけます。



「いのちの森づくり」植樹祭を 姫路地区3拠点で合同開催

「モノづくり」の会社として存続し成長していくため、「人づくり」や社会と調和した工場づくりを目指し、従業員をはじめ、そのご家族、協力会社の皆様、近隣の皆様と一緒に「いのちの森づくり」に取り組んでいます。

この取り組みのなかで、特に大きなイベントとして「植樹祭」を行っています。2016年に播磨工場ですべて初めに行われ、2017年 新井工場、2018年 大竹工場で開催しました。今年は11月2日に、姫路地区(網干工場、広畑工場、iPark)にて開催し、これまでで最も多い10,000本の苗木を、従業員やその家族、地域住民の方々と植えました。



株式会社ダイセル



UD FONT

FSC®認証紙と環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。